

修士論文（要旨）
2014年1月

20代女性看護師の職業選択の共通点
- 交流分析における人生脚本の視点から -

指導 中村 延江 教授

心理学研究科
臨床心理学専攻
212J4001
荒井 大河

目次

はじめに	1
第1章 先行研究	2
1 看護師が抱える問題についての研究	
1.1 看護師の実情	2
1.2 看護師が罹りやすい疾患	2
1.3 海外の看護師との比較	3
1.4 看護師のストレス要因	4
1.5 看護師のストレス軽減に関する研究	4
1.6 新人看護師に関する研究	5
1.7 所属する部署による看護師のストレスの違い	6
1.8 まとめと問題点	7
2 職業選択に関する研究	
2.1 大学生と職業選択	7
2.2 職業選択に与える親の影響	7
2.3 看護師の職業選択	8
2.4 まとめと問題点	9
3 人生脚本についての研究	
3.1 交流分析について	9
3.2 人生脚本について	9
3.3 禁止令	10
3.4 拮抗禁止令とドライバー(駆り立てるもの)	11
3.5 人生脚本を用いた研究	12
第2章 本研究	14
1 意義	14
2 目的	14
3 方法	14
3.1 研究対象者	14
3.2 調査期間	15
3.3 調査場所および面接形態	15
3.4 質問項目	15
3.5 倫理的配慮	16
3.6 手続き	16
3.7 分析方法	17
3.8 分析テーマ	17
3.9 分析焦点者とその選定基準	17
3.10 分析手順	17

4	結果	18
4.1	概念	18
4.2	カテゴリー	22
4.3	結果図	23
4.4	ストーリーラインとコアカテゴリーの説明	23
5	考察	32
6	引用文献	37
7	謝辞	38
8	付録	38

I. 問題と目的

看護師という職業は入院患者の日常生活の手伝いや体調管理、診療の補助、心理的なサポートなど幅広い業務を一手に担っている非常に大変な職業である。実際の業務でも、看護の対象が多岐にわたることや看護業務の責任の重さ、医師や看護師同士のコミュニケーションが非常に大変であるという話を耳にする。また、看護師は医師のように勤務する科が固定されていないため、異動となると業務内容が一変し、その内容に対応していかなければならず苦勞するということもあるという。このように看護師は一般的な認知でも現在働いている看護師の聞き取り調査でも負担感の多い職業であると言える。

このような状況に置かれている看護師ではあるが、看護師を目指したいという学生は後を絶たず、看護師として就職する若者は年々増加している（厚生労働省, 2013）。業務が非常に大変であると周知されているにも関わらず、看護師になりたい、看護師になってもらいたいと考える人が多いのは何故なのであろうか。そこには何か共通するものがあるのではないだろうか。

本研究の目的は、20代女性看護師が職業を選択するに至った共通点を把握することである。その際、職業選択に影響を与えたと考えられる人生脚本の形成要因や幼児決断の把握に重点を置いていく。看護師を志して職に就いた者が、どのような脚本を描き、どのような体験を重ねて看護師となったのかを生育歴に焦点を当てて調査を進める。

II. 方法

調査は2013年4月から6月に行われた。現在も働いている20代の女性看護師11名を対象とした。対象者の選定は機縁法で行われた。面接は半構造化面接を用いた。質問項目は、幼い頃に無意識に決断した人生のシナリオである「人生脚本」や、親が無意識のうちに子どもに伝えていた無言のメッセージである「禁止令」や、モットーや家訓、理念として表現される「拮抗禁止令」などに基づいた、全6項目からなるものとした。具体的には、「あなたの人生の目標はなんですか」「子どもの頃に強く心に決めたことはどんなことですか」「あなたにとって両親はどのような人でしたか」などである。面接は1時間程度をとした。面接の録音としてICレコーダーを用いた。分析には修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ(M-GTA)を用いた。

III. 結果と考察

分析の結果、29の概念が生成された。カテゴリーは【親子関係】【きょうだい関係】【現実的側面】【幼少期の職業観】【理想の仕事への希求】【学校生活】【職場体験】【脚本像】【キャラクター像】の9つであった。

本研究から分かったこととして、看護師には幼少期から職業選択に直接与える影響があること、幼少期に思い描いた「人と関わる」脚本を強化する形で職業選択を行ってきた可能性があることがあげられる。また、ストレス要因として先行研究であげられていた対人関係を人生脚本という視点に立って考えると、看護師の脚本にある「喜ばせよ」が満たされなくなったことが考えられる。

今後の課題としては、他の世代の看護師や近年増加している男性看護師が持つ脚本の調査を行い、それぞれの脚本の傾向をつかむことで、世代や性別を考慮した支援策を立案することができるだろう。

引用文献

- 荒木 登茂子 2013 看護師の職場ストレス 福岡医学雑誌 104(2), 27-33
- 千田 寛子・堀越 政孝・辻村 弘美・新井 裕美・永井 歩・齋藤 洋子・河村 恵美・二渡 玉江 (2012) 手術室新人看護師が抱く困難と対処法 北関東医学 62(3), 277-286
- 深沢 道子 2001 禁止令の概念の発展とその背景にあるもの 交流分析研究 26(1), 7-16
- イアン スチュアート・ヴァン ジョインズ 深沢 道子(監訳) 2009 TA TODAY 最新・交流分析入門 実務教育出版
- 磯本 章子・工藤 雄行・小池 妙子 2011 看護師と介護福祉士の職務継続要因 —職業選択動機に関する検討— 弘前医療福祉大学紀要 2(1), 47-54
- 伊豆上 智子 2007 病院ケアに関する看護師レポートの6か国比較 看護研究 40(7), 5-16
- 株式会社 Kuraray 2013 新小学1年生の「将来就きたい職業」、親の「就かせたい職業」
<http://www.kuraray.co.jp/enquete/occupation/2013/pdf/2013data.pdf>
- 金井 Pak 雅子 2007 日本における調査結果からみえてきたこと 看護研究 40(7), 61-69
- 片岡 洋子 2008 大学生の職業選択と高校時代の不安 経営論集 18(1), 29-48
- 片山 はるみ 2010 感情労働としての看護労働が職業性ストレスに及ぼす影響 日本衛生学雑誌 65(4), 524-529
- 木下 康仁 (2011) 質的研究は研究する人間をエンパワーできるか グラウンデッド・セオリー・アプローチの多様化を通して 看護研究 44(4), 418-437
- 久保 真人・田尾 雅夫 1994 看護婦におけるバーンアウト —ストレスとバーンアウトの関係— 実験社会心理学研究 34(1), 33-43
- 菰田 孝行 2006 大学生における職業価値観と職業選択行動との関連 青年心理学研究 18, 1-17
- 厚生労働省 2013 平成22年度我が国の保健統計 3保健医療関係者の動向 3-12就業保健師・助産師・看護師・准看護師・歯科衛生士・歯科技工士数の年次推移
<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000000z68f-img/2r9852000000z6c1.pdf>
- 松本 友一郎・臼井 伸之介 2010 医師及び他の看護師との関係における対人ストレスナーが看護師のバーンアウトに及ぼす影響 応用心理学研究 36(1), 1-12
- 満山 かおる 2013 脚本の入り口としてのドライバー 交流分析研究 38(1), 60-68
- 三輪 聖恵・志自岐 康子・習田 明裕 (2010) 新卒看護師の職場適応に関連する要因に関する研究 日本保健科学学会誌 12(4), 211-220
- 水田 真由美・上坂 良子・辻 幸代・中納 美智保・井上 潤 (2004) 新卒看護師の精神健康度と離職願望 和歌山県立医科大学看護短期大学部紀要 7, 21-27
- 檜原 理恵・島田 涼子 2012 3交代制看護師のバーンアウトの重症度別の心身の症状 —日本版 GHQ30 と日本版 MBI を用いてバーンアウトの症状を特定する試み— 心身健康科学 8(2), 60-65
- 日本看護協会 2013a 労働条件・環境の改善 適正な労働時間管理
<http://www.nurse.or.jp/nursing/practice/shuroanzen/jikan/01.html>
- 日本看護協会 2013b 労働条件・環境の改善 看護職の労働安全衛生 メンタルヘルスケ

ア

<http://www.nurse.or.jp/nursing/practice/shuroanzen/safety/01.html>

- 奥野 洋子 2011 対人援助職におけるポジティブな変化について ―看護師の自己成長感の特徴について― 近畿大学臨床心理センター紀要 4, 19-30
- 奥野 洋子・萬羽 郁子・青野 明子・東 賢一・奥村 二郎 2013 看護職の自己成長感、バーンアウトに影響を与える要因について 健康心理学研究 26(2), 95-107
- 佐山 公一 2009 大学生の職業選択に及ぼす親の影響の強さ 商学討究 60(1), 45-69
- 篠崎 麻由子 2003 青年期のドライバーズと自己評価が成長意欲に及ぼす影響 ―共分散構造分析による一研究― 交流分析研究 28(1), 46-52
- 新里 里春 2001 禁止令と自己実現について 交流分析研究 26(1), 17-25
- 鹿内 啓子 2007 大学生の職業選択に対する職業意識と親の影響との関連性 北星論集 44(2), 1-11
- 鈴木 英子・永津 麗華・森田 洋一 2003 大学病院に勤務する看護師のバーンアウトとアサーティブな自己表現 日本保健福祉学会誌 9(2), 11-18
- 鈴木 佳子 2011 人生脚本とラケット ―命を守るための援助を求めること― 交流分析研究 36(1), 4-12
- 角田 由佳 2007 日本における看護師の労働市場 バーンアウトの背景にある経済・政策的問題 看護研究 40(7), 51-59